

最高裁秘書第2985号

令和3年9月30日

林弘法律事務所

弁護士 山中理司様

最高裁判所事務総長 中村



司法行政文書開示通知書

令和2年4月14日付け（同月16日受付、第020077号）で申出のありました司法行政文書の開示について、下記のとおり開示することとしましたので通知します。

記

1 開示する司法行政文書の名称等

- (1) 令和3年9月13日付け「分野別実務修習（第73期司法修習）中に課した自宅学修課題の例について」と題する書面（地方裁判所修習指導担当者宛てのもの、片面で3枚）
- (2) 令和3年9月13日付け「分野別実務修習（第73期司法修習）中に課した自宅学修課題の例について」と題する書面（地方検察庁修習指導担当者宛てのもの、片面で2枚）
- (3) 令和3年9月13日付け「分野別実務修習（第73期司法修習）中に課した自宅学修課題の例について」と題する書面（弁護士会修習指導担当者宛てのもの、片面で3枚）

2 開示の実施方法

写しの送付

担当課 秘書課（文書室） 電話03（3264）5652（直通）

令和3年9月13日

地方裁判所修習指導担当者 殿

司法研修所

分野別実務修習（第73期司法修習）中に課した自宅学修課題の例について

新型コロナウイルス感染症の感染拡大が予断を許さない状況が続いている中、各配属庁、指導担当者におかれましては、感染防止対策を確實に講じつつ、充実した分野別実務修習となるよう御尽力いただいていることと存じます。

この度、各配属庁において、分野別実務修習（第73期司法修習）を自宅学修とした場合に司法修習生に課した課題の例を、別紙1及び2のとおり取りまとめましたので、参考として、情報提供させていただきます。

例年にも増して様々な御配慮をいただきしておりますが、引き続きよろしくお願ひいたします。

別紙1

民事裁判

(主張分析に関する課題)

- ・「新問題研究要件事実」及び「新問題研究要件事実－民法（債権関係）改正に伴う追補－」の熟読、「セルフチェック新問題研」の実践
- ・「第4版民事訴訟第一審手続の解説別冊記録」に基づく争点整理の手法の検討
- ・平成23年10月「民事訴訟における争点整理－教材記録－」の検討レポート
- ・「事実摘示記載例集」の検討、改正民法の内容について自学自修
- ・言い分方式の事例を素材とした、ブロックダイヤグラム等の作成

(事実認定に関する課題)

- ・第3クール向け学修用記録（2冊、令和2年5月）に基づく起案
- ・「事例で考える民事事実認定」の事例のサマリー起案
- ・「対話で考える民事事実認定－教材記録－」（事前課題）に基づくサマリー起案
- ・「第4版民事訴訟第一審手続の解説別冊記録」に基づくサマリー起案
- ・配属庁で作成した模擬記録に基づくサマリー起案

(訴訟手続に関する課題)

- ・「第4版民事訴訟第一審手続の解説別冊記録に基づいて」の読み込み
- ・「第4版民事訴訟第一審手続の解説別冊記録」を基にした和解条項、尋問事項及び判決の各起案
- ・訴訟手続において専門的知見を活用する方法についての検討を求める課題
- ・民事訴訟手続に関する質問事項集の設問の検討
- ・民事訴訟の尋問について論じる文献を配布して、効果的な尋問方法について検討させた。

(その他)

- ・倒産手続に関する基本的な事項に関する設問の検討
- ・破産事件についての判例分析及び事例分析
- ・民事弁護教材「民事保全」、「民事執行」の通読
- ・民事保全講義の事前課題として、架空の事案を題材に、保全申立てについて検討させた。
- ・具体的な最高裁判決を素材とした「判例の射程範囲」の検討レポート

別紙2

刑事裁判

(事実認定に関する課題)

- ・既済記録に基づく事実認定起案
- ・既済事件の判決から証拠構造、間接事実や反対仮説の位置付け等を読み解く事例問題
- ・事実認定に関する判断を示した最高裁判例を複数指定し、それらを精読した上で刑事裁判の事実認定において合理的な疑いが残らないといえるためにはどの程度の立証が必要かを分析するレポートの作成
- ・問研起案の再起案

(公判前整理手続に関する課題)

- ・配属庁作成の問題研究記録に基づいて公判前整理手続の目的、証拠開示制度、争点整理の在り方について検討するレポートの作成
- ・模擬裁判の記録を題材として、公判前整理手続において、それぞれの配役に応じ、期日で何を行うか、想定される裁判所又は当事者の対応に対してどのように応答するかを検討するレポートの作成

(その他の訴訟手続に関する課題)

- ・配属庁で実施予定だった手続法・証拠法関係の問題研究に関するレポートの作成
- ・伝聞証言に関する異議や、再現実況見分調書、酒酔い酒気帯び鑑識カード、診断書、写真撮影報告書、鑑定書、防犯カメラ画像等の書証が不同意となった場合の対応等の伝聞法則を巡る諸問題についてのレポートの作成

(量刑に関する課題)

- ・匿名処理をした実際の事件記録を題材に行行為責任を中心とする量刑について検討するレポートの作成
- ・裁判員裁判対象事件の模擬事例を題材とした量刑の基本的考え方に関する説明案の検討
- ・量刑が争点の裁判員模擬裁判のDVDの視聴と当該事案の量刑に関するサマリー起案

(令状に関する課題)

- ・配属庁で実施予定だった令状問題研究に関するレポートの作成
(令状講義の内容を課題形式に改めて出題した庁もあり。)
- ・模擬記録に基づく勾留請求、保釈請求に関するレポートの作成

令和3年9月13日

地方検察庁修習指導担当者 殿

司法研修所

分野別実務修習（第73期司法修習）中に課した自宅学修課題の例について

新型コロナウイルス感染症の感染拡大が予断を許さない状況が続いている中、各配属庁、指導担当者におかれましては、感染防止対策を確実に講じつつ、充実した分野別実務修習となるよう御尽力いただいていることと存じます。

この度、各配属庁において、分野別実務修習（第73期司法修習）を自宅学修とした場合に司法修習生に課した課題の例を、別紙のとおり取りまとめましたので、参考として、情報提供させていただきます。

例年にも増して様々な御配慮をいただきしておりますが、引き続きよろしくお願ひいたします。

別紙

- ・司法研修所提供的課題案の全部又は一部を使用した課題
- ・法制執務に関するレポートの作成
- ・実務修習結果簿の作成
- ・修習した事件の振り返りレポートの作成
- ・検察修習についての感想文の作成
- ・その他各配属庁が指定した判例又は資料等の検討等

令和3年9月13日

弁護士会修習指導担当者 殿

司法研修所

分野別実務修習（第73期司法修習）中に課した自宅学修課題の例について

新型コロナウイルス感染症の感染拡大が予断を許さない状況が続いている中、各配属府、指導担当者におかれましては、感染防止対策を確實に講じつつ、充実した分野別実務修習となるよう御尽力いただいていることと存じます。

この度、各配属府において、分野別実務修習（第73期司法修習）を自宅学修とした場合に司法修習生に課した課題の例を、別紙1及び2のとおり取りまとめましたので、参考として、情報提供させていただきます。

例年にも増して様々な御配慮をいただいておりますが、引き続きよろしくお願ひいたします。

別紙1

民事弁護

1 起案

- ・ 司法研修所教官室提供の課題案の全部または一部を使用した起案
- ・ 具体的な事件を抽象化した上で、訴状、準備書面、証拠説明書、文書提出命令申立書、保全命令申立書等の起案。
- ・ 修習委員会で用意した模擬法律相談の事例等を利用した起案

2 レポートの作成

- ・ 過去の事件を参考にした、訴訟に至るまでの採り得る手段・訴訟のための証拠の収集の検討、尋問の検討その他の弁護方針の検討レポートの作成
- ・ 交通事故事案の調査方法や訴訟対応に関するレポートの作成、過失割合の検討
- ・ 土地売買のトラブル事案の対応に関するレポートの作成
- ・ 民事執行法改正に関するレポートの作成
- ・ 民法改正に関するレポートの作成
- ・ 新型コロナウィルス感染症関係の法整備の調査、同感染症を理由とする派遣先による派遣料支払拒絶事案の検討
- ・ これまでの弁護実務修習を踏まえて修習生が興味を持っている、あるいは指導担当弁護士において修習生が取り組むべきと考える法分野や事案についての法律関係調査、レポートの作成
- ・ 指導担当弁護士が作成した課題の検討、レポートの作成
- ・ 修習委員会で用意した設問の検討、レポートの提出
- ・ 契約書案のレビュー

3 模擬法律相談

- ・ 司法修習委員会委員との間で、ウェブ会議システムを使用した法律相談演習を実施し、これに関するレポートの作成

4 その他

- ・ 導入カリキュラムの復習（民事裁判を含む）
- ・ 日弁連のEラーニングの受講及び受講レポート
- ・ 各種WEBセミナーの受講
- ・ 司法修習委員会指定の推薦図書の読み込み
- ・ 基本書等を用いた、要件事実、事実認定、基本判例等の民事弁護における基本的な項目の復習

別紙2

刑事弁護

1 「課題」の使用

- ・司法研修所教官室提供の課題案の全部または一部を使用した課題を使用した学修
- ・司法修習委員会作成の自宅学習用課題（ひとつの事件について、当番で出勤するところから公判までの一連の流れに関する課題）を使用した学修

2 演習等

- ・ウェブ会議システムを用いた模擬接見

3 起案、調査等

- ・過去の事件を利用した各種書面の起案、弁護活動の検討
- ・指導担当弁護士が担当する事件に関する調査、検討、起案
- ・弁護士会の刑事弁護教材を用いた起案等
- ・実務修習を踏まえて、修習生に関心があつたり指導担当弁護士が選定した事案や法分野についての調査、レポート作成
- ・指導担当弁護士が作成した課題に関するレポートの作成

4 研修、書籍等による学修

- ・日弁連のE ラーニングの視聴及び受講レポート
- ・司法修習委員会が指定した推薦図書や刑事弁護に関する書籍の読み込み
- ・法的問題点に関する判例・学説の調査

5 その他

- ・実務修習中に気になった知識の確認や白表紙の検討
- ・導入修習のカリキュラムの復習